

2019年産米の収穫予想(7月31日現在)

【作柄(水稻)】◆全国作況100の「平年並み」

本社では、各都道府県別の7月末までの気象データを、作況推計プログラムに投入して作況を予想しました(8月～収穫期まで天候が平年並みに推移した場合の予測値です。今後の天候経過によっては上振れ・下振れの余地があり、確定的なものではありません)。

2019年産(令和元年産)の水稻作柄は、一部地域で6月上中旬及び7月上中旬に日照不足及び低温傾向となったことから生育が抑制され、生育は「やや不良」の県もあると見込まれるものの、田植期以降6月上旬にかけて高温・多照で推移したことや、梅雨明け後はおおむね天候に恵まれていることから、全国の作況指数は100の「平年並み」が予想されます。地帯別の作況指数は、北海道が102の「やや良」、東北・北陸・東海・近畿・中国が99～101の「平年並み」、関東・九州及び沖縄が95～98の「やや不良」が見込まれます。都道府県別では、作況指数102の「やや良」は北海道・青森・秋田・山形・石川の5道県、99～101の「平年並み」は岩手・宮城・福島・茨城・新潟・富山・滋賀など22都府県、95～98の「やや不良」は栃木・埼玉・千葉・福岡など20府県が見込まれます。なお、梅雨明け後は高温傾向が続いていることや台風の発生・接近が多いことから、その影響に留意する必要があると見ています。

【作付面積】◆水稻推計138万2千ha(主食用米等)

生産調整の取り組み状況や、各県等への聞き取りを踏まえ、本社としては主食用米等の水稻作付面積を138万2千ha、前年産実績比4千ha減と推計しました。なお、政府備蓄米、加工用米、新規需要米など生産調整の対象分は収穫予想から除外しています。また、非主食用米への取組申請手続きが8月末まで延長されていることから、変動の余地があります。

【水稻収穫量】◆主食用米等734万6千トン

作況・作付予測に基づく本年産水稻の7月31日現在における主食用米等の予想収穫量は、全国平均で10a当たり532kg、収穫量は734万6千トン、前年産実績比1万9千トン増と見通しました。

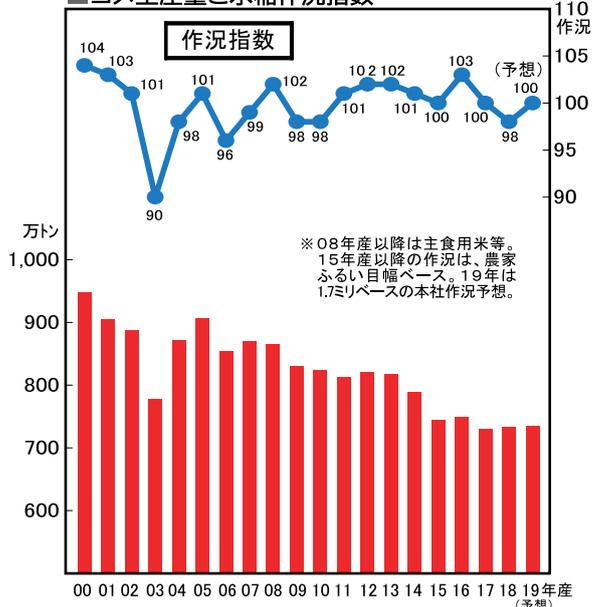
令和元年/2年(令和元年7月から2年6月)における主食用米等の供給量は、令和元年6月末の在庫188万7千トン(農水省・速報値)と、上記の予想収穫量を加えて923万3千トンと見込まれます。農水省が基本指針で策定した需要見通し726万4千トンを差し引くと、令和2年6月末の在庫は196万9千トンと見込まれます。今期より8万2千トン増となる計算で、需給はやや緩和されることが想定されます。

[表1] 全国の収穫予測(主食用米等)

			2019年産	前年差	前年比
合計	作付面積	ha	1,383,000	▲ 4,000	99.7%
	収穫予想	t	7,348,000	19,000	100.3%
水稻	作付面積	ha	1,382,000	▲ 4,000	99.7%
	10a収量	kg	532	3	100.6%
	収穫予想	t	7,346,000	19,000	100.3%
	作況指数		100	-	-
陸稲	作付面積	ha	690	▲ 60	92.0%
	10a収量	kg	231	▲ 1	99.6%
	収穫予想	t	1,590	▲ 150	91.4%

(注)加工用米、新規需要米は除く。陸稲の作柄は平年並みとして試算。ラウンドのため計が合わない場合がある。作況指数の前年差・比は、農水省公表の農家等ふるい目幅の基準が異なるため、表記せず。

■ コメ生産量と水稻作況指数

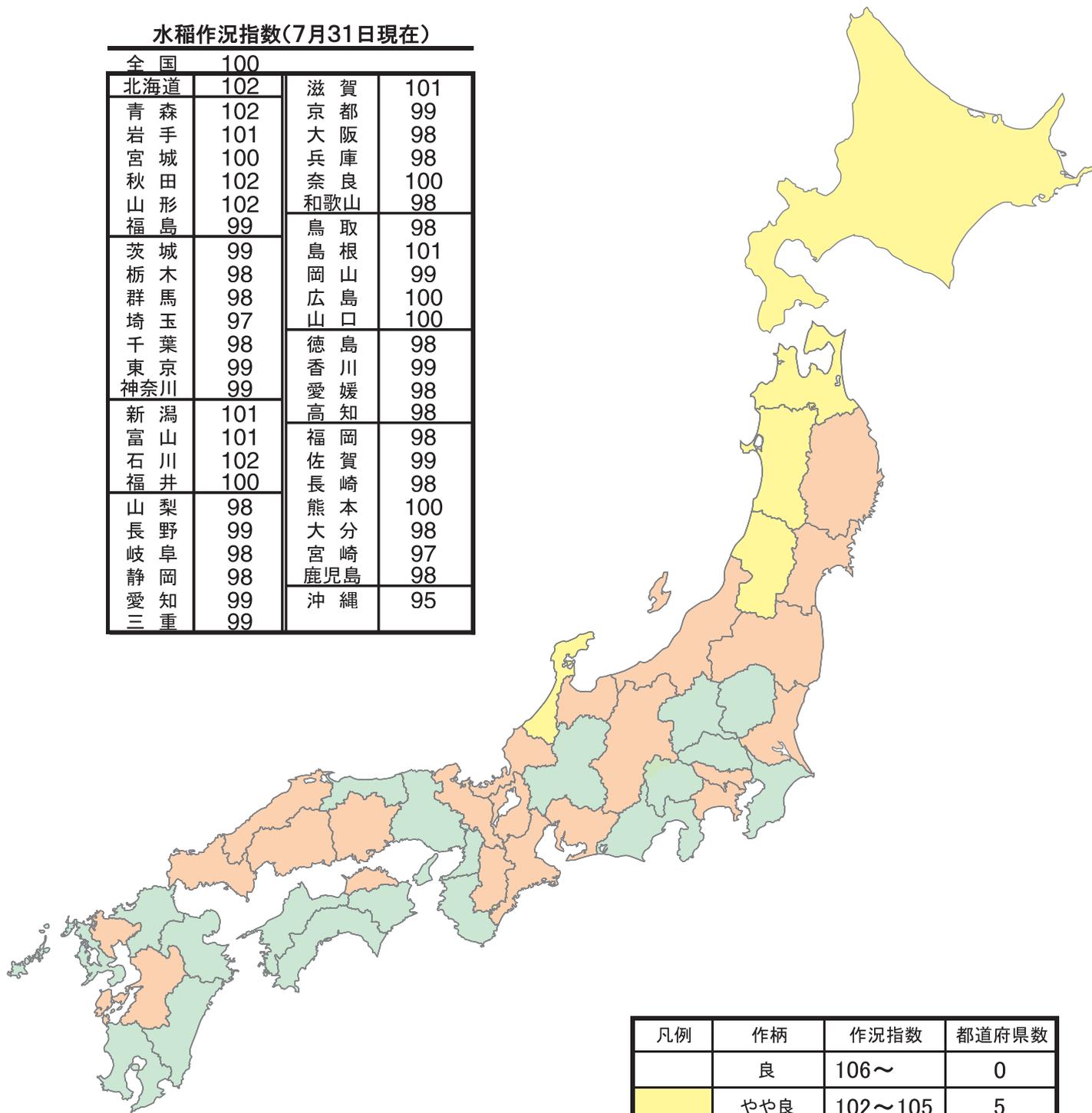


2019年産水稻の都道府県別作柄

米穀データバンク予測

水稻作況指数(7月31日現在)

全 国	100		
北海道	102	滋 賀	101
青 森	102	京 都	99
岩 手	101	大 阪	98
宮 城	100	兵 庫	98
秋 田	102	奈 良	100
山 形	102	和 歌 山	98
福 島	99	鳥 取	98
茨 城	99	島 根	101
栃 木	98	岡 山	99
群 馬	98	広 島	100
埼 玉	97	山 口	100
千 葉	98	徳 島	98
東 京	99	香 川	99
神 奈 川	99	愛 媛	98
新 潟	101	高 知	98
富 山	101	福 岡	98
石 川	102	佐 賀	99
福 井	100	長 崎	98
山 梨	98	熊 本	100
長 野	99	大 分	98
岐 阜	98	宮 崎	97
静 岡	98	鹿 児 島	98
愛 知	99	沖 縄	95
三 重	99		



凡例	作柄	作況指数	都道府県数
	良	106～	0
■	やや良	102～105	5
■	平年並み	99～101	22
■	やや不良	95～98	20
■	不良	～94	0

[表2]2019年産水稻(主食用米等)の収穫予想(7月31日現在)

(単位:面積ha、10a収量kg、収穫量t)

	作付面積	10a予想収量	作況指数	予想収穫量	前年差
全国	1,382,000	532	100	7,346,000	19,000
北海道	97,300	559	102	543,900	54,300
青森	39,500	604	102	238,500	2,500
岩手	48,500	542	101	263,000	▲ 2,000
宮城	64,300	536	100	344,600	▲ 10,800
秋田	75,200	584	102	439,500	19,500
山形	57,500	608	102	349,600	22,500
福島	60,700	540	99	327,500	▲ 15,800
茨城	66,600	519	99	345,500	▲ 4,500
栃木	54,700	529	98	289,500	▲ 11,400
群馬	13,600	488	98	66,400	▲ 2,900
埼玉	30,400	475	97	144,500	▲ 5,500
千葉	53,900	531	98	286,300	▲ 5,800
東京	130	410	99	530	▲ 25
神奈川	3,070	489	99	15,000	▲ 200
新潟	106,000	549	101	582,400	26,400
富山	33,100	547	101	181,200	▲ 2,600
石川	23,000	530	102	122,000	1,600
福井	23,500	519	100	122,000	▲ 3,100
山梨	4,800	536	98	25,700	▲ 400
長野	31,000	613	99	190,000	▲ 3,400
岐阜	21,500	478	98	102,800	0
静岡	15,600	511	98	79,700	300
愛知	26,700	502	99	134,000	800
三重	27,200	495	99	134,600	▲ 600
滋賀	30,200	523	101	158,000	3,900
京都	13,900	506	99	70,300	500
大阪	4,900	485	98	23,800	▲ 900
兵庫	35,500	492	98	174,600	▲ 100
奈良	8,500	513	100	43,600	▲ 200
和歌山	6,400	487	98	31,200	▲ 400
鳥取	12,600	504	98	63,500	300
島根	17,000	516	101	87,700	▲ 2,400
岡山	29,300	521	99	152,600	600
広島	22,700	526	100	119,400	▲ 800
山口	18,400	504	100	92,700	▲ 6,000
徳島	11,000	465	98	51,100	▲ 1,500
香川	12,300	491	99	60,400	500
愛媛	13,900	488	98	67,800	▲ 1,400
高知	11,300	449	98	50,700	400
福岡	34,900	486	98	169,600	▲ 11,200
佐賀	23,700	514	99	121,800	▲ 5,900
長崎	11,400	472	98	53,800	▲ 3,100
熊本	32,300	513	100	165,700	▲ 5,200
大分	20,500	492	98	100,900	▲ 2,300
宮崎	14,400	481	97	69,300	▲ 3,200
鹿児島	18,300	472	98	86,400	▲ 1,600
沖縄	710	294	95	2,080	▲ 120

[注]面積は本社推定。備蓄米、加工用米、新規需要米等は含まず。10a予想収量は、ふるい目幅1.7mm基準で、作況指数は農水省が採用する農家使用のふるい目幅ベースと異なる。

(参考)

米穀データバンクの作況予測[1.7mm基準]の推移

年産	本社予測7/31	農水省・初回	農水省・最終
H5	93	(8/15) 95	74
6	108	(8/15) 105	109
7	100	(8/15) 100	102
8	100	(8/15) 101	105
9	103	(8/15) 102	102
10	97	(8/15) 99	98
11	103	(8/15) 103	101
12	103	(9/1) 103	104
13	102	(9/15) 103	103
14	102	(9/15) 101	101
15	94	(9/15) 92	90
16	103	(9/10) 101	98
17	100	(9/15) 102	101
18	96	(9/15) 97	96
19	99	(9/15) 99	99
20	102	(9/15) 102	102
21	96	(9/15) 98	98
22	102	(9/15) 99	98
23	101	(9/15) 101	101
24	102	(9/15) 102	102
25	100	(9/15) 102	102
26	102	(9/15) 101	101
27	100	(9/15) 100	100 [100]
28	100	(9/15) 103	103 [102]
29	102	(9/15) 100	100 [100]
30	102	(9/15) 100	98 [99]

[注]本社予測は、5年産は早場13道県で8月10日現在。6年産以降は全国を対象としています。一方、農水省は平成12年産以降、全国の作柄概況は8/15は文字情報に変更し、9/15現在からの公表になっています。12年産は作期が早まり特例措置として9/1現在の数字が公表されたほか、16年産は9/10現在に変更されています。なお、農水省は平成27年産から農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況公表に変更しています。[]内は、従来の1.7ミリ基準で計算した場合の作況指数です。本社は1.7ミリ基準で予想しています。